

医療機関等との関係の透明性に関する指針

1. 本指針の目的

極東製薬工業株式会社（以下、「当社」）は、「人類の健康と福祉に貢献する」という企業理念のもとに、細菌培養用基材、細菌検査用培地・試薬や臨床検査試薬・器材の継続的な開発、製造及び安定的な供給を通じて、医療現場をサポートし続けることをその使命としております。このような使命を果たすためには、大学等の研究機関や医療機関等（以下、「医療機関等」）と連携協力しながら事業活動を展開していくことが不可欠となります。

しかしながら、医療機関等との連携活動は、その透明性を確保し、高い倫理性を担保した上で行われなければ、社会から普く理解を得ることはできません。

当社は、「コンプライアンス基本方針」に基づき、薬事関連法令等の諸法令を遵守することはもとより、一般社団法人 日本臨床検査薬協会（以下、「臨薬協」）の定める「体外診断用医薬品企業活動倫理要綱」、「体外診断用医薬品プロモーションガイドライン」などの業界自主規制に従い、医療機関等との関係の透明性を確保するべく努力を続けてきました。今般、当社は、臨薬協の定める「体外診断用医薬品の企業活動と医療機関等との関係の透明性ガイドライン」に従い、当社と医療機関等との連携活動に関する情報を公開するにあたり、より高い倫理性を担保した事業活動を推進していくことを目的として本指針を策定いたしました。

2. 公開方法

当社のウェブサイトを通じて公開します。

3. 公開時期

2014年度以降、前年度分を決算終了後の適切な時期に公開します。

4. 公開対象

A. 研究費開発費等

- | | |
|---------------------------|----------|
| (1) 共同研究費：提供施設先の名称：〇〇件〇〇円 | 年間の件数・総額 |
| (2) 委託研究費：提供施設先の名称：〇〇件〇〇円 | 年間の件数・総額 |
| (3) その他開発関連費用 | 年間の総額 |

B. 学術研究助成費

- | |
|---------------------------|
| (1) 奨学寄付金：〇〇大学〇〇教室：〇〇件〇〇円 |
| (2) 一般寄付金：〇〇大学〇〇教室：〇〇件〇〇円 |

(3) 学会寄付金：第〇回〇〇学会（〇〇地方会、〇〇研究会）：〇〇円

(4) 学会共催費：第〇回〇〇学会〇〇セミナー：〇〇円

C. 原稿執筆等

(1) 講師謝金：〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円

(2) 原稿執筆料・監修料：〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円

(3) コンサルティング等業務委託費：〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円

D. 情報提供関連費

(1) 講演会費：年間の件数・総額

(2) 説明会費：年間の件数・総額

(3) 医学・薬学関連文献等提供費：年間の総額

E. その他の費用

(1) 接遇費用：年間の総額

尚、B、Cに関しては、上記開示が難しい場合は項目単位での年間の件数・総額を開示します。

（制定日：2014年11月25日）

（改訂日：2021年4月13日）